

消えたあと ぬかるみ残すな 霜柱

一昨年暮、オケラは、左眼に黒い影が出来ました。直ぐ治るだろうと思いましたが、その影がなかなか消えず、眼医者の診断は、加齢黄斑変性症。また加齢かよ。治療法は唯一、目玉に注射をするのだそうで、月1回を3回で一区切り。更にその後も、2ヶ月に1回宛、永遠に続けなければ失明するような話。そしてその費用が、保険の1割負担でも、1回15,000円とのこと。おいおい、そんな高い眼で何を見るんだ？ 時既に、開通している総ての新幹線に乗る、日本一周5日間の旅を予約しており、先ずは日本の景色を観て来よう。お金はそれなりに掛かりますが、車がなくなったのだから、これぐらいは良いだろう。秋、眼の治療を継続しながら、毎年人間ドックで、大腸の潜血反応が+++。再検査に行ったら、大腸はまだしも、トントントンと話が進んで、落ち込んだ先が、痔の手術。おしめ暮らしの予行演習。治りが速いと褒められていた矢先に大出血で、ワーファリンの所為とか。日本人男子の平均寿命に達しようとしているこの瞬間に、この出費。生き長らえるのは金が掛かるものと知りました。メケラは相変わらずのように見えますが、それは見掛けだけのこと。中身は確かに、75歳になっているようです。私達二人、地震や津波を受けた訳ではなく、一見頑丈そうながら、その実は半壊状態。本年もよろしくお願い申し上げます。

平成三十年元旦

オケラ ・ メケラ